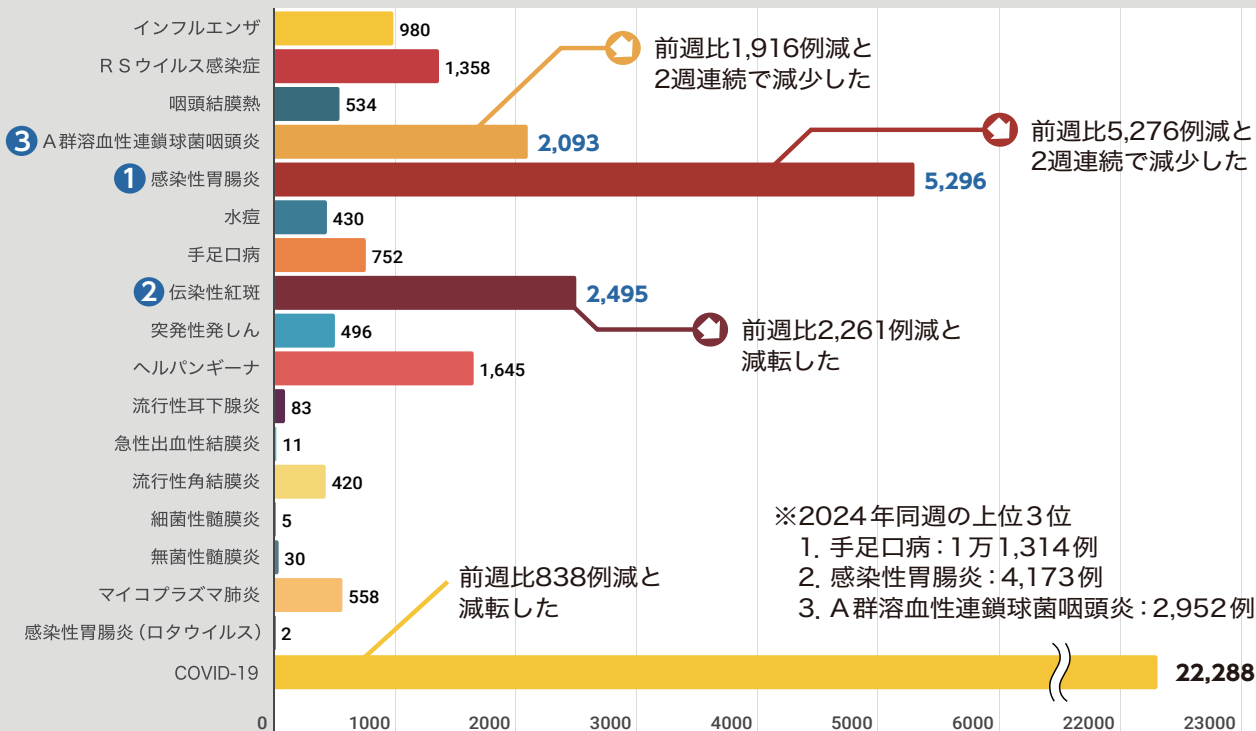




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

コロナ2万例維持、感染性胃腸炎は半減

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 749例
2. 神奈川県: 323例
3. 大阪府: 287例

定点当たりの報告数(2.46)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 島根県: 5.36 | 4. 香川県: 4.88 | 7. 鳥取県: 3.58 | 10. 鹿児島県: 3.39 |
| 2. 福井県: 5.28 | 5. 石川県: 4.04 | 8. 大分県: 3.56 | 11. 東京都: 3.37 |
| 3. 岐阜県: 5.07 | 6. 奈良県: 3.74 | 9. 富山県: 3.46 | 12. 愛媛県: 3.30 |

② 伝染性紅斑

報告数

1. 静岡県: 151例
2. 大阪府: 144例
3. 北海道: 140例

定点当たりの報告数(1.16)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 山形県: 3.32 | 4. 島根県: 2.27 | 7. 新潟県: 2.23 | 10. 福岡県: 1.89 |
| 2. 大分県: 3.19 | 5. 滋賀県: 2.26 | 8. 三重県: 2.16 | 11. 鹿児島県: 1.84 |
| 3. 和歌山県: 2.81 | 6. 佐賀県: 2.25 | 9. 宮崎県: 1.93 | 12. 長崎県: 1.74 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 233例
2. 埼玉県: 226例
3. 神奈川県: 147例

定点当たりの報告数(0.97)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 愛媛県: 2.90 | 4. 鳥取県: 1.84 | 7. 大分県: 1.53 | 10. 鹿児島県: 1.45 |
| 2. 埼玉県: 2.76 | 5. 京都府: 1.81 | 8. 栃木県: 1.52 | 11. 福岡県: 1.43 |
| 3. 茨城県: 1.92 | 6. 新潟県: 1.57 | 9. 北海道: 1.46 | 12. 宮崎県: 1.36 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比5,276例減と2週連続で減少し、5,296例となった。伝染性紅斑は前週比2,261例減と減転し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の29道府県から8県(山形県、大分県、和歌山県、島根県、滋賀県、佐賀県、新潟県、三重県)に縮小した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は前週比1,916例減と2週連続で減少した。COVID-19は838例減もほぼ横ばいで、2万例を維持した。定点当たりの報告数は、宮崎県(14.74)が最も多く、鹿児島県(12.63)、埼玉県(11.52)、茨城県(10.87)、秋田県(10.71)、岐阜県(10.42)、愛知県(10.25)と続いた。なお、今週はお盆期間の影響により報告数が減少したと考えられ、解釈には注意が必要である。